



# 新聞まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報  
発行責任者  
福岡県議会議員  
**新聞 昌彦**  
福岡市早良区曙2-1-35  
Vol.69号  
平成28年8月24日発行

## 県政報告

## 6月定例会

### 公明党の代表質問で登壇

H28.6.13

平成28年熊本地震(H28.4.14・16)  
熊本県庁、益城町の被災現場を訪問し、福岡県の  
防災対策を知事に質問しました。

- 災害基準値の朔望平均満潮位を最大満潮位とした上で防災計画を見直すべき。
- 個別支援避難計画が進んでいない。全力で取り組むべし。
- 広域支援について
  - ①九州・沖縄相互応援協定を、スピード感をもって支援できるよう見直す。
  - ②避難所の支援・罹災証明について有効なソフトを全九州で配置し、防災訓練時に使用していく。
  - ③福岡県の透析メールを希望する県には、システムを公表し利用を推進していく。

f-Biz(静岡市産業支援センター)を訪問し、行列ができる中小企業支援の取組を聞き、売り上げを伸ばす支援策を知事に質問しました。



- 本県の備えについて
  - ①避難所の窓などの非構造部材の耐震化とトイレの洋式化を推進していく。
  - ②3割にとどまる木造戸建て住宅の耐震化は、窓口業務をワンストップ化し利用しやすくしていく。
  - ③ブロック塀の耐震化は、通学路、住宅地を重点に点検していく。
  - ④下水道・マンホールは、市町村に下水道業務継続計画を今年度中に策定していく。
  - ⑤高齢者の安心情報キット等の普及を推進していく。
  - ⑥防災ハンドブックを作成する。(東京防災ハンドブックを参照する)
  - ⑦不動産関係団体、社会福祉協議会等と居住支援協議会を設置。更に推進していく。



- 中小企業を取り巻く環境を整えよ。
  - ①国が行った「政労使会議」の下請け取引改善について大企業に対し、あらゆる機会に周知していく。
  - ②中小企業の価格交渉力向上のために国がセミナーを開催し、個別訪問指導も実施していく。
  - ③経営改善専門相談員が中小企業を訪問し、地域中小企業支援協議会を上げて課題を解決していく。
  - ④「建設業法令順守ガイドライン」を下請け業者に周知し、元請け業者を指導していく。